

2020 年度 岩国めぐみ幼稚園 学校評価

1. 園の教育目標

共に生きていくために必要なことが形成されていく最も大事な時期の幼児期。幼い子どもたちも大人も共に社会の一員として豊かな成長が得られるように願い、次の3項目を中心に保育しています。

- ①キリスト教保育
- ②のびのび保育
- ③自由・総合保育

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・本園の教育方針、指導計画の再確認を行い、内容を検討し、保育内容、施設の改善に取り組む。
- ・研修等を通じ、保育教諭の専門性・資質を向上し、保育に反映する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
教育要領、教育課程、子どもの実態を基に指導計画を作成する	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領、キリスト教保育誌を用いて、学年ごとに年間、月間週ごとに保育案を作成し保育に反映させている。また、日々の記録を参考にして子どもの実態を把握し、週案の作成に反映させ、園長や副園長と話し合い加筆、訂正を行う。
保育教諭の資質、教育の向上のために研修等を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ感染防止のために、前半研修会が中止になる事が多かったが、8月以降、山口県私立幼稚園協会、岩国私立幼稚園協会主催の研修会や、オンラインでの研修会に参加することが出来た。 ・今年も2カ月に1回、園内での研修を行った。危機管理、衛生、支援について、日々の保育を振り返り話し合いを重ねた。また、12月には12月末で退職された経験豊富な海野真由美先生を講師に保育の中での困りごとや対応について話を聞いた。時には、パートの先生も加わり保育教諭全員が同じ場で話し合い、共有できたことも良かった。 ・ICT化に伴い、チャイルド社福岡支社より来園していただき、4月からの本格運用のためにパソコンでの入力作業を教えていただいた。 ・毎月末の職員会議に加え、各行事や日々の反省や気づきを保育後に話し合い、保育教諭1人1人の資質の向上につなげている。
外部講師による研修	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回、広島よりダンスの先生を招いてリズム遊びを行う。 3歳児以上を対象に、クラス毎にリズム遊びを通してステップや身体の動きを学んだ。年長組は4月よりダンスに取り組み9月の運動会で披露した。保護者からも好評で、他のクラスの保護者も1年後を楽しみにされている年中児、年少児共に年長組の踊っている姿に憧れ、良い刺激となっている。1月、広島にコロナ感染が増え、1月のリズム遊びを休みとした。次年度もダンスを続ける。

<p>外部講師による研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年より始めた音遊び「ジェンベで遊ぼう」は、ジェンベ(アフリカの太鼓)を使ってのリズム打ち、アフリカの言葉で挨拶、アフリカの遊びや音楽など、子どもたちにも先生方にも好評で、2カ月に1回行う。しかし今年はコロナウイルス感染防止のために7月から始めた。9月、11月と行ったが、1月は感染者が増えて来ていたので中止とした。3月は、9日(火)の予定。
<p>子育て支援の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の預かり保育を実施し、保護者の急な用事にも対応する。7:30-8:30の早朝保育も利用があり、保護者にも好評であった。 ・0歳児の受け入れを初めて2年。0歳児や1歳児の入園希望が多く、受け入れの問い合わせも多い。0歳から2歳を受け入れている「ひよこハウス」は常に定員いっぱい、今年も入園をお断りすることが多かった。1年間、ひよこハウスへの入園を希望されお断りし続けた方もある。 ・月2回の未就園児親子登園も幼児体操や園庭開放など、年間計画を立てたが、新型コロナウイルス感染防止のため今年度は休会した。
<p>子どもたちへの安全教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して火災はもちろん、地震、水害、台風、感染症、不審者等の避難訓練を行った。子どもたちは、緊急放送の聞き方や避難の仕方も回数を重ねるごとに上手になっている。 緊急でない場合も、放送前のチャイムを鳴らすと遊びを中断し放送を静かに聞くことが出来た。これは毎月の訓練の成果だと思う。 ・防犯への取り組み、災害に備えたマニュアルの見直しをするとともに保護者との連携をどのような形でとるか、検討する。 非常食の備蓄も少しずつ増やしており、有効期限を表示し保管している。これからは、主食、副食等もいろんな種類を増やしていきたい。 ・岩国市交通安全対策室による学期ごとの交通教室は、新型コロナウイルス感染防止のため年長児を対象とする会となり、年3回行う。 ・JR西日本岩国運転室の方々による年1回の踏切事故防止教室は、とても楽しみにしていたが、感染防止のため中止となったが踏切の渡り方のパンフレットや記念品を頂いた。 ・新型コロナウイルス感染の事が毎日のように報道され、身近な岩国市でもかなりの感染が見られたため、改めて子どもたちに手洗いうがい、消毒の大切さを伝え徹底して行った。先生方のも、保育室や遊具の消毒を徹底し、トイレなども子ども達が使用した後には消毒を行うように保育時間に余裕をもって取り組めるようにした。

<p>家庭との連携について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ face book の活用により、ホームページよりも少し軟らかい形で、子どもたちの日々の様子や給食献立を伝えることが出来るように日々更新することを目標にした。保育教諭が1日交代で、自分のクラスや全体の子どもたちのその日の様子を掲載し、たくさんの方に見ていただくことが出来た。また、ホームページのリニューアルも行い、より園の様子を多くの方々に見ていただけるように工夫した。 ・ 月1回、クラスだよりを写真付きで発行した。それぞれクラス担任が工夫し、保護者に伝えたいことも記載し1ヶ月の様子を伝えた。 ・ 緊急連絡を行うために「JMOBILE」のメールサービスを導入している。園だけでなく、山口県からの緊急情報や警察からの情報なども保護者へ情報提供を行った。 ・ 写真ネット販売「ルクミー」は保護者にも好評で、次年度も継続して行い、写真撮影出張サービスも次年度は検討する。 ・ 年間を通して食育だよりを作成し、外国籍の家庭も含めて全家庭に日本語版、英語版を毎月配布した。郷土料理や行事食も掲載し、外国籍の保護者の方から「参考にして料理を作ってみた」など好評。これからも食育、健康、季節や日本の行事に関して、いろいろな情報を発信していきたい。
<p>環境整備の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブロック塀の工事を子どもたちの利用が少ない春休みから工事を始め、フェンス工事を完了した。 ・ 玄関の門扉が重く、軽いアルミ製のものに取り替えた。出入り口が付いているため、登降園の際も利用しやすく、軽くて良い。 ・ 園庭総合遊具のプレイロードに、砂があがり、塗装が剥げてしまう。また子どもたちが落下した場合に、地面に落ちてけがをする可能性があることから、遊具の下にゴムチップを敷いた。毎朝、ゴムチップの上を掃き掃除することから、遊具に砂が上がりにくく、ペンキの剥がれも少なくなった。何よりも、クッション性が良く、安心して遊べる。また、ひよこハウスのこどもたちが幼稚園園舎を行き来するため、ひよこハウスと園舎職員室裏にゴムチップの通路を作った。 ・ ゆり組、もも組保育室の外、園舎設立当時のコンクリート手洗い場を撤去し新しいものに取り替えた。 ・ 新型コロナウイルス感染防止のため、換気をしながらの空調利用のため、少しでも節電が出来ればと紫外線&赤外線カットガラスコーティング「ウェブカット」を幼稚園園舎、ひよこハウス共に行った。また、感染症対策として抗ウイルス・抗菌・消臭効果のある、無光触媒「デオガード」コーティングを園舎内、ひよこハウス、園バス、室内遊具全てに抗ウイルス・抗菌加工を行った。 ・ 年少もも組の保育室をリフォームし、部屋が広くきれいになった。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果、及び今後取り組むべき課題

- ・新型コロナウイルス感染症の対策や対応に追われた1年間であった。

入園式後、非常事態宣言が出され、幼稚園部分は、4月15日から5月24日まで休園。保育園部分も岩国市より自粛要請があったため、4月20日より5月19日まで登園を控えていただくようお願いをした。休園中、自粛登園中は、家庭で過ごす子どもたちに2週間に1回遊びのアイデアとして、塗り絵や折り紙、製作物を送付した。

そして、今までの園の行事を見直し、行事一つ一つを検討し、感染対策が出来る行事か否か、また、岩国市や広島県の感染状況も踏まえての行事決定の判断を行った。子どもたちが大好きな夏のプール遊びは中止し、プールを使用しない夏の遊びをクラス毎に行った。運動会、クリスマス会、発表会は、参加者保護者の人数を制限し、検温、手指の消毒の徹底、座席もくじ引き(運動会以外)で決めた。年3回行う参観日も6月は、ゆり組の保育室を使用し、クラス毎に入れ替わって保育を行い、保護者の方には人数制限、検温、消毒の後、ドアの外から参観していただいた。11月は、岩国市に感染者が増えたため中止。2月は、園での様子を撮影し、DVDに編集して各家庭に配布することにした。今まで普通に異年齢の交流を行っていたが、ふれあい遊びや手を繋いでの散歩、全園児でお祝いする誕生会では揃ってお祝いが出来ず、各クラス毎に開催する形となり、残念であった。

- ・教職員は、各クラスの実態の把握、そこから保育案の作成、実施、反省と一連の流れの中で保育を行うことが出来るように心がけた。その中で園児一人ひとりに必要な援助を研修や園内の協議で分かち合ったことを踏まえ、実施するように努めている。

特に研修面では、小規模で保育園部分もあることから、決して多い保育教諭の人数ではない中、保育教諭の資質向上も鑑みて、外部研修が行われる際は特に積極的に参加するようにした。今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため研修会の開催も減り、ネット配信での研修会が多かった。

また今年度、西中国教区幼児施設研修会の実行委員を担当していたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止し、来年再び開催することとなった。

- ・事前の準備をより入念に行うことにより、行事だけでなく通常の保育もさらに充実させることが可能だと思っているので、園長以下、副園長、担任、補佐、それぞれの職務をその都度確認し今後、より密なる連携を図り一層の努力を重ねていきたい。
- ・保育教諭の配置や保育状況を踏まえ、誰でも担当クラス以外のヘルプが出来るようにこれからも幼稚園とひよこハウスの連携を図り、環境を整えたい。
- ・園児、保育教諭の検温、手洗いうがい、消毒を継続し、保育室や遊具の消毒を徹底することを教職員全員で確認し、感染防止に努めたい。

5. 学校関係者評価

学校関係者評価委員は上記1～4の自己評価を受け、それぞれの評価は適切であると判断した。

また、今後も、特にコロナウイルスに関する対応については今後も気を抜くことなく行ってほしいとの意見が出た。

2020 年度卒園児(人)			
	男の子	女の子	計
卒園児	7	14	21

卒園後の入学先状況(人)

東小学校	麻里布小学校	愛宕小学校	川下小学校	岩国小学校	装港小学校	大竹小学校	岩国基地内	合計
8	5	2	2	2	1	1	1	21

2020 年度 園児在園状況 2/26 現在

組名	1 号利用(幼稚園)			2 号利用(保育園)			3 号利用(保育園未満児)			合計
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	
すずらん							2	1	3	3
たんぼぼ							4	4	8	8
うめ							4	3	7	7
もも	2	9	11	5	5	10				21
ゆり	2	4	6	7	9	16				22
すみれ	4	11	15	3	3	6				21
計	8	24	32	15	17	32	10	8	18	82

通園状況(人)

岩国市	81
大竹市	1

2021 年度 園児在園状況 2/26 現在 4 月からの保育園新利用者については未定

組名	1 号利用(幼稚園)			2 号利用(保育園)			3 号利用(保育園未満児)			合計
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	
すずらん										
たんぼぼ							2	1	3	3
うめ							4	4	8	8
もも	9(8)	9(9)	18(17)	3	3	6				24(17)
ゆり	3(1)	10(1)	13(2)	4	6	10				23(2)
すみれ	3	4	7	6	9	15				22
計	15(9)	23(10)	38(19)	14	17	31	6	5	11	80(19)

通園状況(人)

岩国市	78
大竹市	2

上記報告を 2021 年 5 月 29 日の理事会にて承認した。

